



## 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社三菱総合研究所  
 コード番号 3636 URL <http://www.mri.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 京太  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 河内 裕 TEL 03-6705-6001  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月10日 配当支払開始予定日 平成28年6月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	42,195	7.0	3,659	14.2	3,846	16.9	2,246	6.9
27年9月期第2四半期	39,449	△6.5	3,205	△19.1	3,289	△19.0	2,102	△0.2

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 2,469百万円 (3.4%) 27年9月期第2四半期 2,389百万円 (△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	136.80	—
27年9月期第2四半期	128.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	74,676	46,063	53.8
27年9月期	67,094	44,134	57.3

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 40,174百万円 27年9月期 38,433百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	25.00	—	30.00	55.00
28年9月期	—	30.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	3.1	5,800	4.5	6,150	5.8	3,550	△3.9	216.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期2Q	16,424,080株	27年9月期	16,424,080株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	212株	27年9月期	212株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期2Q	16,423,868株	27年9月期2Q	16,423,876株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中でありませ

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従って、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載いたします。

(参考)

平成28年9月期の個別業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	△3.1	3,050	△21.3	2,200	△16.1	133.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(四半期連結貸借対照表関係)	13
(四半期連結損益計算書関係)	13
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	14
(株主資本等関係)	14
(1株当たり情報)	15
4. 補足情報	16
受注及び販売の状況	16

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年10月1日～平成28年3月31日)のわが国経済は、回復力の鈍い状況となりました。設備投資こそ高水準の企業収益を背景に緩やかに増加したものの、消費は、世界的なリスク回避姿勢の強まりによる金融市場の不安定化に伴ってマインドが悪化し、低調な動きが続きました。また、輸出についても、中国経済を始めアジア向けが軟調に推移し、弱い動きとなりました。

海外経済は、総じて力強さに欠ける状況となりました。新興国では、中国経済の減速が続くなか、原油安が資源国経済の成長を押し下げました。欧州経済は消費が持ち直したものの、依然低迷状態を脱しきれていません。米国経済は、ドル高による影響などから輸出や設備投資が低調に推移しているほか、株式相場の不安定な展開に伴う資産効果の縮小から、消費の勢いがやや弱まりました。

このような環境下、当社グループは品質及び顧客満足度を最優先しつつ、シンクタンクとして培った科学的手法をはじめ、総合的な機能・サービスを最大限に活用して事業展開を進めました。特に、コンサルティングとICT\*を組み合わせた民間企業の経営革新支援事業、金融機関やクレジットカード会社向けのシステム構築などを推進しました。また、電力自由化や社会保障制度改革、地方創生といった社会の新しいニーズに対応した事業開発に取り組みました。

こうした結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は42,195百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は3,659百万円(同14.2%増)、経常利益は3,846百万円(同16.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,246百万円(同6.9%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (シンクタンク・コンサルティングサービス)

当第2四半期連結累計期間は、官公庁向けでは、環境・エネルギー、社会資本整備等の公共分野における各種調査案件やシステム開発管理案件、民間向けでは、金融機関向けのリスク管理・規制対応支援案件や顧客データ分析案件などが売上に貢献したことにより、売上高(外部売上高)は14,917百万円(同11.5%増)、経常利益は1,890百万円(同1.5%増)となりました。

#### (ITサービス)

当第2四半期連結累計期間は、メガバンク向けのシステム構築案件、クレジットカード会社向けシステムの機器更改・基本ソフトウェア更新案件などが売上に貢献したことにより、売上高(外部売上高)は27,278百万円(同4.6%増)、経常利益は1,925百万円(同33.6%増)となりました。

\* Information and Communication Technology:情報・通信に関する技術の総称

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて7,582百万円増加し、74,676百万円（前年度末比11.3%増）となりました。内訳としては、流動資産が47,383百万円（同18.5%増）、固定資産が27,293百万円（同0.7%増）となりました。流動資産の主な増加要因は、短期資金運用のための有価証券が償還により9,499百万円減少したものの、季節要因により受取手形及び売掛金が10,934百万円、たな卸資産が4,599百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、季節要因により買掛金が4,158百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて5,652百万円増加し、28,612百万円（同24.6%増）となりました。

純資産は、利益剰余金が1,754百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて1,929百万円増加し、46,063百万円（同4.4%増）となりました。

②キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ5,823百万円減少し、12,431百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,653百万円の支出(前年同四半期は6,245百万円の支出)となりました。これは、季節要因による売上債権の増加10,934百万円、たな卸資産の増加4,599百万円、仕入債務の増加4,159百万円等によるものです。なお、当社グループは3月から4月にかけて完了するプロジェクトが多いことから、第2四半期連結累計期間までは支出が先行し営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスになる傾向があります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、553百万円の収入(前年同四半期は1,462百万円の収入)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、714百万円の支出(前年同四半期は835百万円の収入)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

シンクタンク・コンサルティングサービスは、前期の大型実証案件の反動減等をカバーするだけの受注の積上げが不足していることに加え、人件費等のコスト増加もあり、売上高、経常利益とも期初公表値を下回る見込みです。一方、ITサービスは、順調に推移しており、経常利益は期初公表値を上回る見込みですが、大口顧客向け案件の本格化が当初の想定よりも遅れていることから、売上高は期初公表値を下回る見込みです。

これを受け、平成27年10月30日に公表いたしました平成28年9月期通期連結業績予想及び平成28年9月期通期セグメント別業績予想、平成28年9月期通期個別業績予想を、下表のとおり修正いたします。

## 平成28年9月期通期連結業績予想数値の修正（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 92,000	百万円 6,200	百万円 6,500	百万円 3,600	円 銭 219.19
今回修正予想 (B)	88,000	5,800	6,150	3,550	216.15
増減額 (B-A)	△4,000	△400	△350	△50	△3.04
増減率 (%)	△4.3	△6.5	△5.4	△1.4	△1.4
(参考)前期連結実績 (平成27年9月期)	85,354	5,552	5,813	3,692	224.83

## 平成28年9月期通期セグメント別業績予想数値の修正（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

	シンクタンク・コンサルティングサービス		ITサービス	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
前回発表予想 (A)	百万円 36,000	百万円 3,550	百万円 56,000	百万円 3,000
今回修正予想 (B)	34,000	2,950	54,000	3,200
増減額 (B-A)	△2,000	△600	△2,000	200
増減率 (%)	△5.6	△16.9	△3.6	6.7
(参考)前期セグメント別実績 (平成27年9月期)	35,030	3,546	50,324	2,231

## 平成28年9月期通期個別業績予想数値の修正（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 35,500	百万円 3,750	百万円 2,500	円 銭 152.22
今回修正予想 (B)	33,500	3,050	2,200	133.95
増減額 (B-A)	△2,000	△700	△300	△18.27
増減率 (%)	△5.6	△18.7	△12.0	△12.0
(参考)前期実績 (平成27年9月期)	34,578	3,875	2,623	159.74

業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従って、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

この税率変更により、当第2四半期連結累計期間において、未払法人税等が118百万円増加し、法人税等は同額増加しております。



## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,055	12,731
受取手形及び売掛金	10,747	21,681
有価証券	9,499	-
たな卸資産	※1 5,595	※1 10,195
繰延税金資産	1,389	1,453
その他	1,711	1,354
貸倒引当金	△11	△32
流動資産合計	39,987	47,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,962	6,625
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	1,490	1,418
土地	720	720
リース資産(純額)	1,131	969
建設仮勘定	515	17
有形固定資産合計	9,820	9,751
無形固定資産		
ソフトウェア	4,472	4,476
その他	698	1,021
無形固定資産合計	5,170	5,497
投資その他の資産		
その他	12,120	12,095
貸倒引当金	△5	△51
投資その他の資産合計	12,115	12,044
固定資産合計	27,106	27,293
資産合計	67,094	74,676

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,467	7,625
未払金	1,191	1,215
未払費用	1,055	2,465
未払法人税等	877	1,558
賞与引当金	3,080	2,156
受注損失引当金	1	31
資産除去債務	-	9
その他	2,836	3,132
流動負債合計	12,510	18,196
固定負債		
退職給付に係る負債	9,790	9,859
その他	659	557
固定負債合計	10,449	10,416
負債合計	22,960	28,612
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,336	6,336
資本剰余金	4,851	4,851
利益剰余金	26,250	28,004
自己株式	△0	△0
株主資本合計	37,437	39,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,451	1,440
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	36	28
退職給付に係る調整累計額	△486	△484
その他の包括利益累計額合計	995	982
非支配株主持分	5,700	5,888
純資産合計	44,134	46,063
負債純資産合計	67,094	74,676

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	39,449	42,195
売上原価	29,632	31,871
売上総利益	9,816	10,323
販売費及び一般管理費	※ 6,611	※ 6,664
営業利益	3,205	3,659
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	37	45
持分法による投資利益	34	119
その他	22	27
営業外収益合計	96	195
営業外費用		
支払利息	6	5
為替差損	5	0
その他	0	3
営業外費用合計	13	8
経常利益	3,289	3,846
特別利益		
投資有価証券売却益	405	141
特別利益合計	405	141
特別損失		
固定資産除却損	10	18
リース解約損	8	1
その他	0	0
特別損失合計	18	20
税金等調整前四半期純利益	3,676	3,967
法人税等	1,311	1,467
四半期純利益	2,364	2,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	261	253
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,102	2,246

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	2,364	2,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△2
繰延ヘッジ損益	△2	3
為替換算調整勘定	24	△9
退職給付に係る調整額	△21	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△17
その他の包括利益合計	25	△30
四半期包括利益	2,389	2,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,135	2,224
非支配株主に係る四半期包括利益	253	245

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,676	3,967
減価償却費	1,375	1,419
のれん償却額	52	48
賞与引当金の増減額(△は減少)	△441	△924
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	654	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,159	79
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	66
受注損失引当金の増減額(△は減少)	4	30
受取利息及び受取配当金	△39	△48
支払利息	6	5
持分法による投資損益(△は益)	△34	△119
固定資産除却損	10	18
投資有価証券売却損益(△は益)	△405	△141
売上債権の増減額(△は増加)	△6,608	△10,934
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,226	△4,599
仕入債務の増減額(△は減少)	4,193	4,159
その他	△804	2,177
小計	△4,407	△4,794
利息及び配当金の受取額	56	72
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△1,888	△925
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,245	△5,653
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△300	-
有価証券の償還による収入	1,998	1,998
有形固定資産の取得による支出	△545	△747
無形固定資産の取得による支出	△529	△973
投資有価証券の取得による支出	△44	△4
投資有価証券の売却による収入	916	271
貸付けによる支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	2	2
敷金及び保証金の差入による支出	△33	△5
敷金及び保証金の回収による収入	7	6
その他	△8	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,462	553
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,500	-
リース債務の返済による支出	△168	△156
配当金の支払額	△410	△493
非支配株主への配当金の支払額	△85	△65
その他	△0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	835	△714

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,927	△5,823
現金及び現金同等物の期首残高	13,380	18,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 9,453	※ 12,431

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・コ ンサルティングサ ービス	ITサービス			
売上高					
外部顧客への売上高	13,382	26,067	39,449	-	39,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47	1,080	1,128	△1,128	-
計	13,429	27,148	40,577	△1,128	39,449
セグメント利益	1,861	1,441	3,303	△14	3,289

(注) 1. セグメント利益の調整額△14百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、たな卸資産の調整額△27百万円及び固定資産の調整額18百万円の調整額が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	シンクタンク・コ ンサルティングサ ービス	ITサービス			
売上高					
外部顧客への売上高	14,917	27,278	42,195	-	42,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	844	913	△913	-
計	14,986	28,122	43,108	△913	42,195
セグメント利益	1,890	1,925	3,816	29	3,846

(注) 1. セグメント利益の調整額29百万円には、セグメント間取引消去9百万円、たな卸資産の調整額△2百万円及び固定資産の調整額22百万円の調整額が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1. たな卸資産の内訳は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
商品及び製品	67百万円	36百万円
仕掛品	5,496	10,128
原材料及び貯蔵品	31	30
計	5,595	10,195

## 2. 偶発債務

## 債務保証

次の保証先について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
従業員(住宅資金等借入債務)	8百万円	従業員(住宅資金等借入債務) 7百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
役員報酬	377百万円	364百万円
賞与	182	282
賞与引当金繰入額	474	490
給料手当	2,232	2,195
退職給付費用	138	136
賃借料	647	627
貸倒引当金繰入額	19	67



(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
現金及び預金勘定	9,753百万円	12,731百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△300	△300
現金及び現金同等物	9,453	12,431

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年12月18日 定時株主総会	普通株式	410	25.0	平成26年9月30日	平成26年12月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年4月28日 取締役会	普通株式	410	25.0	平成27年3月31日	平成27年6月4日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年12月17日 定時株主総会	普通株式	492	30.0	平成27年9月30日	平成27年12月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年4月27日 取締役会	普通株式	492	30.0	平成28年3月31日	平成28年6月7日	利益剰余金

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	128円02銭	136円80銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	2,102	2,246
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(百万円)	2,102	2,246
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,423	16,423

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 4. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## (1) 受注状況

受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)			
	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティングサービス	18,407	15.2	26,465	△5.5
ITサービス	26,865	19.9	36,097	10.1
システム開発	16,193	21.0	17,592	14.5
アウトソーシングサービス	10,672	18.2	18,504	6.2
合計	45,272	17.9	62,562	2.9

- (注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 継続的に役務提供を行い実績に応じて料金を受領するサービスにつきましては、当第2四半期連結会計期間  
 末後1年間の売上見込みを受注残高に計上しております。

## (2) 販売実績

販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	前年同四半期比 (%)
シンクタンク・コンサルティングサービス (百万円)	14,917	11.5
ITサービス (百万円)	27,278	4.6
システム開発 (百万円)	16,975	5.5
アウトソーシングサービス (百万円)	10,303	3.3
合計 (百万円)	42,195	7.0

- (注) 1. セグメント間の取引は、相殺消去しております。  
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。